

グラフの見方

グラフの単位は、図10以外はすべて学年の割合(%)になっています。軸項目の「とても」は程度が高いこと、「だいたい」はまずまずの程度であること、「すこし」は程度が低いこと、「ぜんぜん」はまったくそのようでないことを表わします。また、横軸の数字は学年を表しています。グラフの上段は前期の、下段は後期のアンケート結果です。

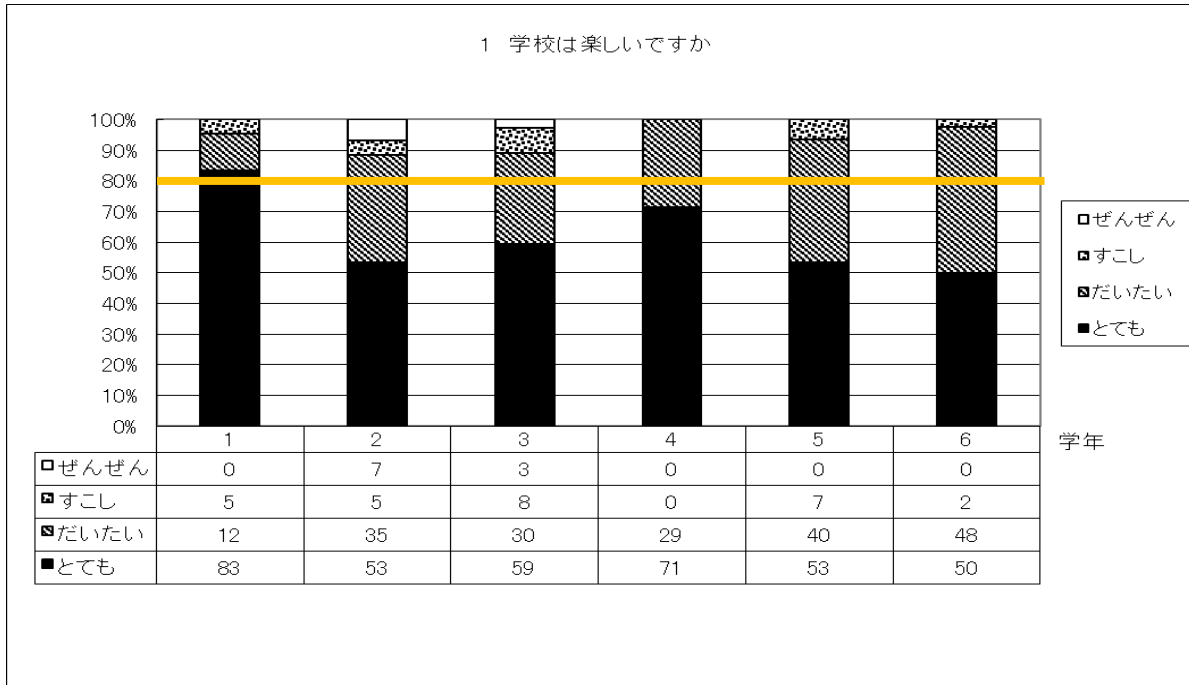
改善が見られる部分⇒



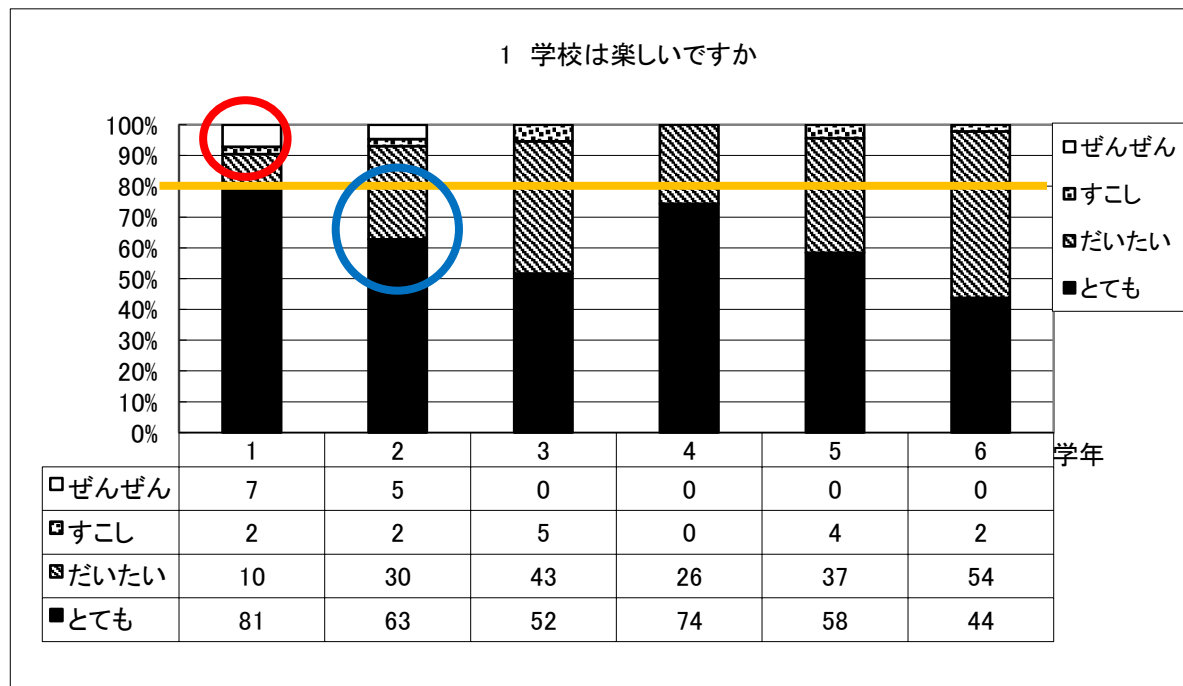
課題が見られる部分⇒



令和2年度前期

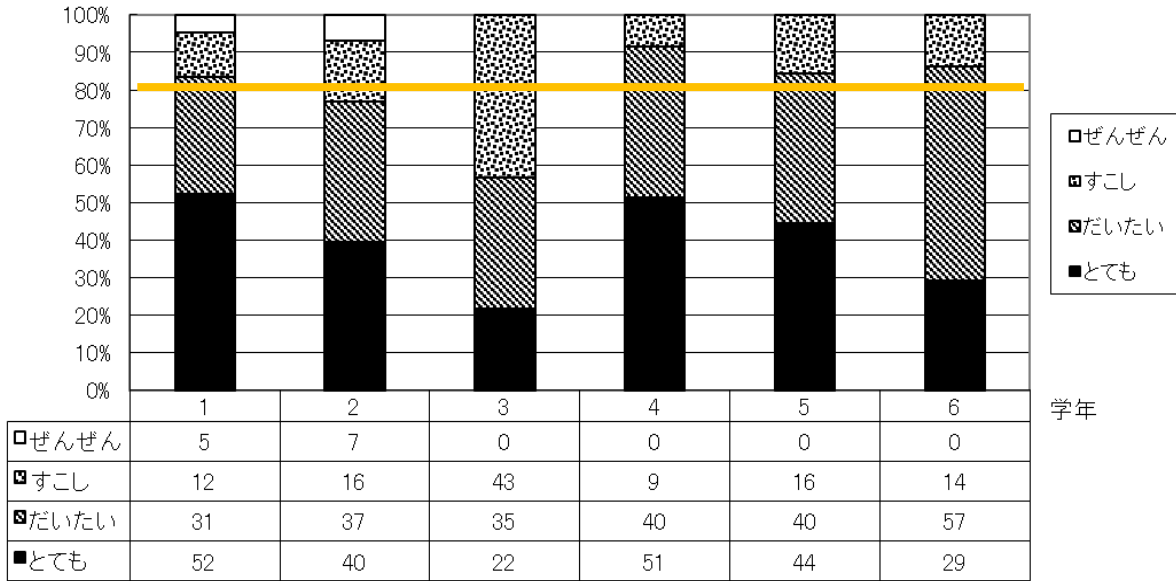


令和2年度後期



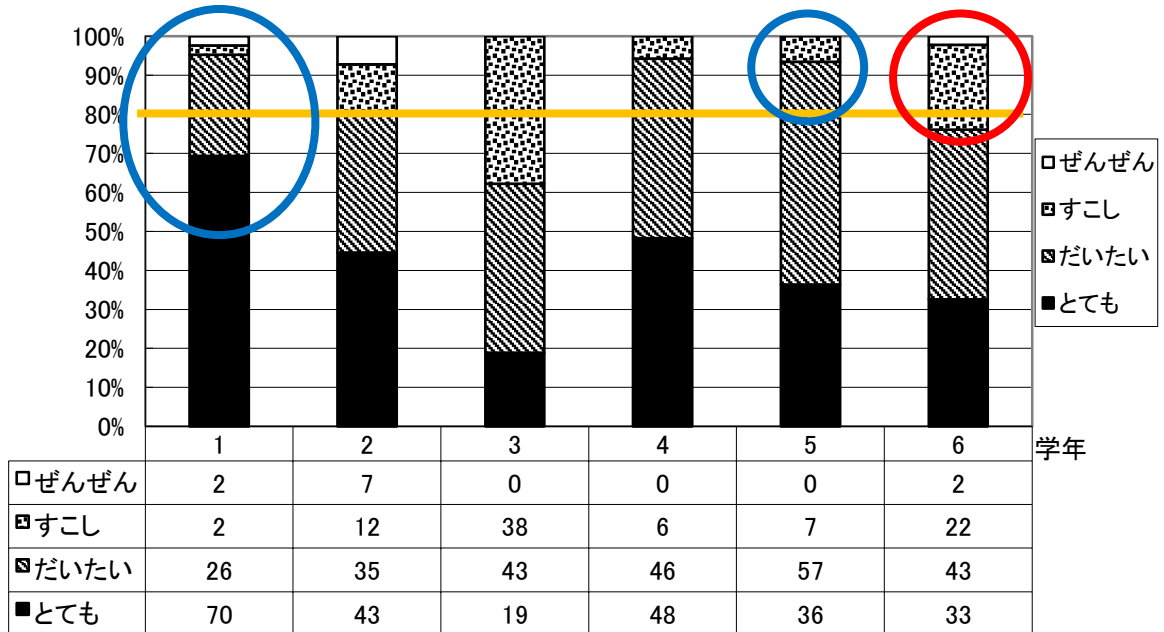
令和2年度前期

2 授業中、友だちの話をよく聞いて、自分の考えを伝えていますか



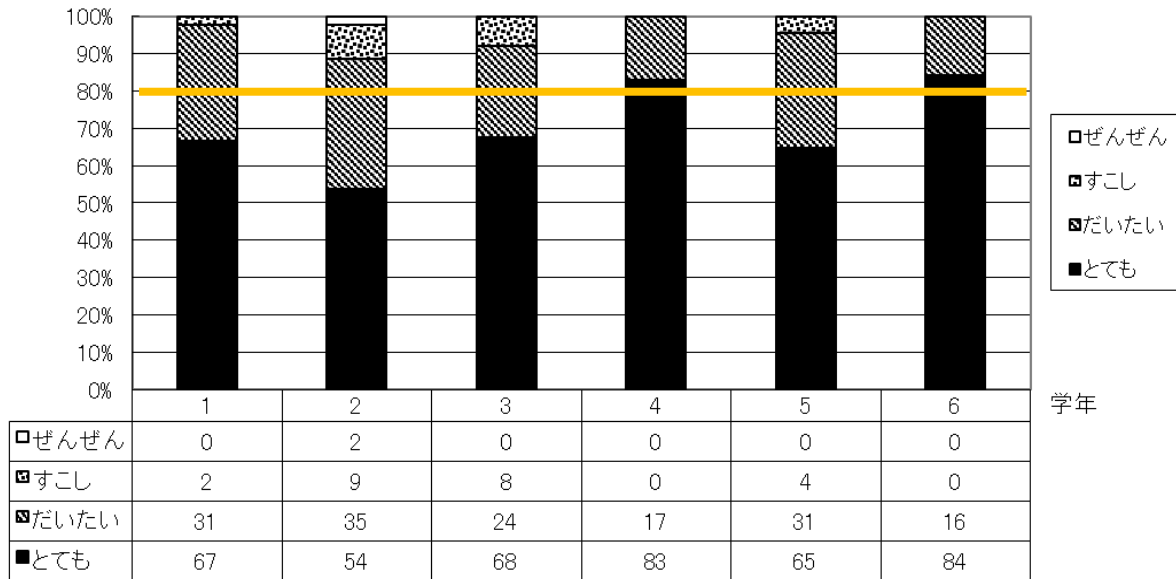
令和2年度後期

2 授業中、友だちの話をよく聞いて、自分の考えを伝えていますか



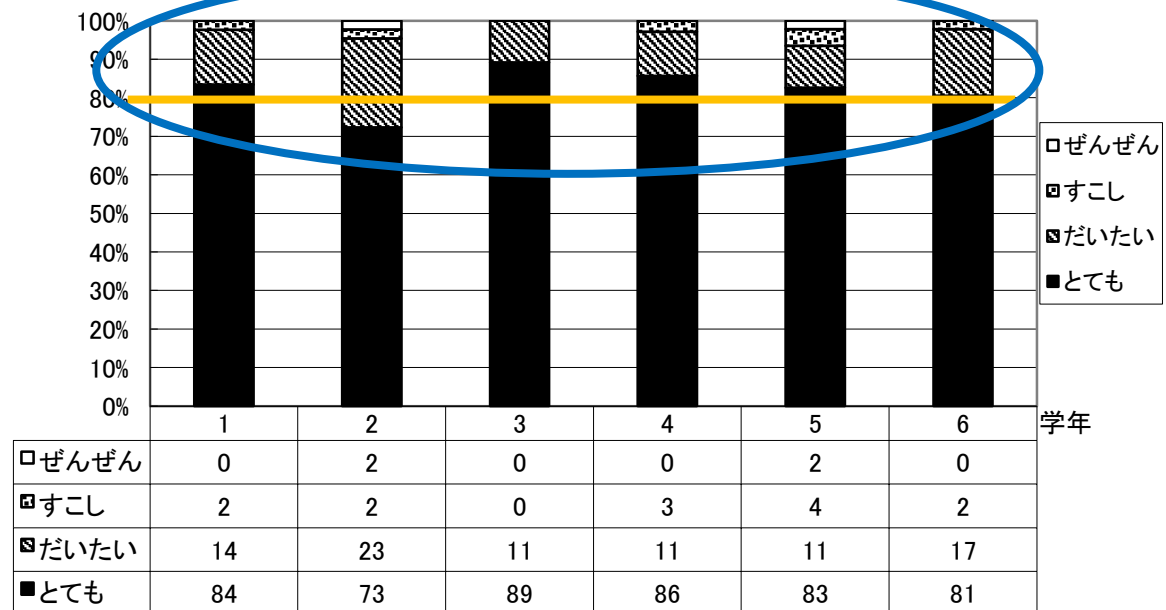
令和2年度前期

3 学校で一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりする友だちはいますか



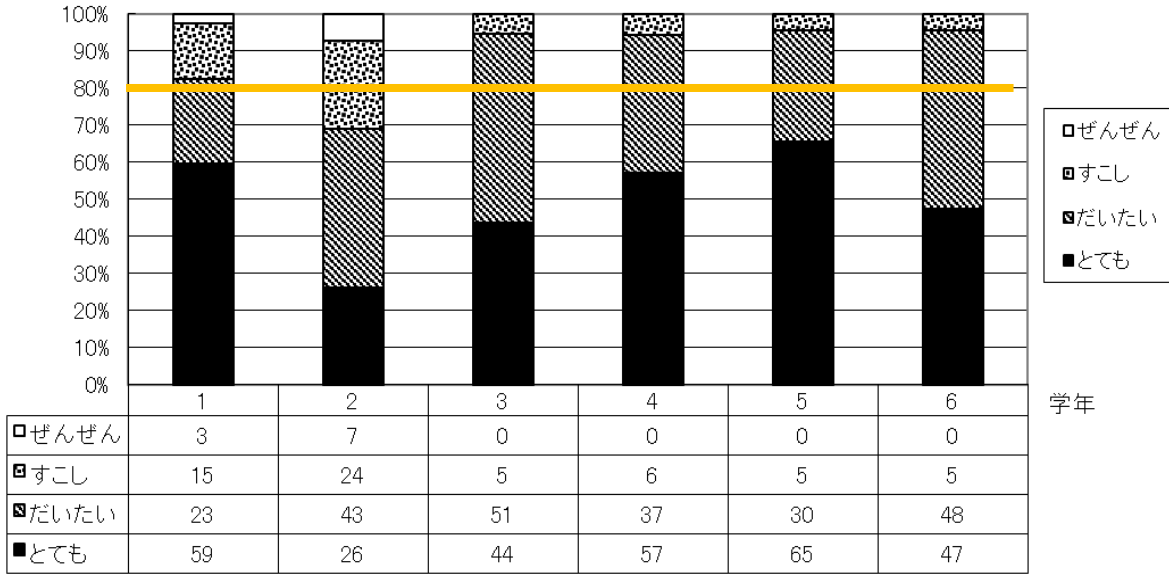
令和2年度後期

3 学校で一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりする友だちはいますか



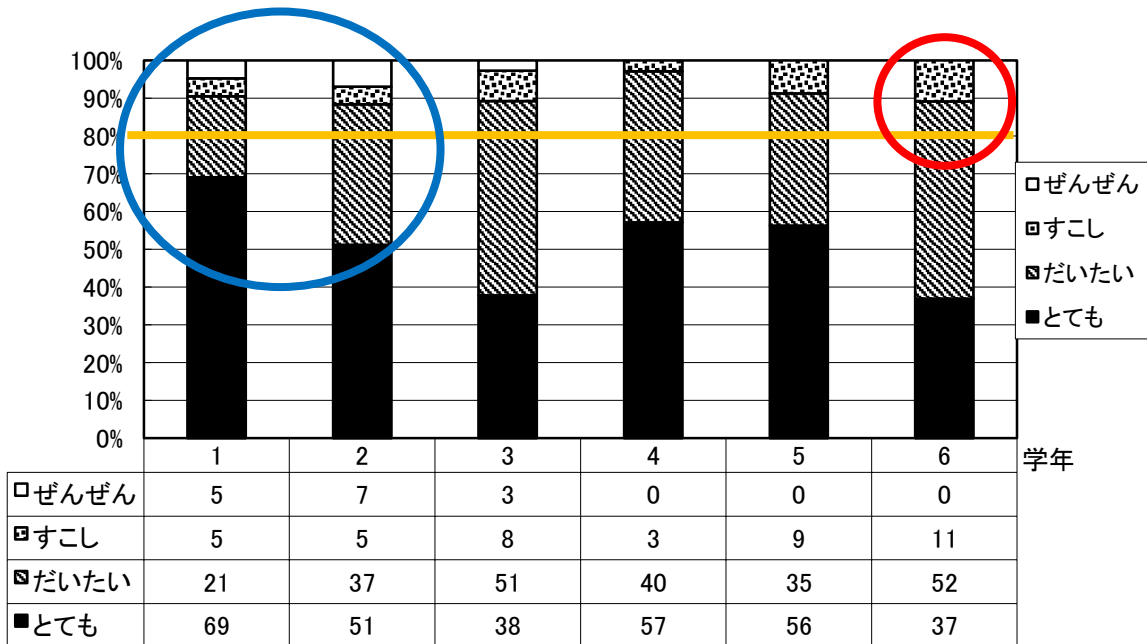
令和2年度前期

4 元気よくあいさつができますか



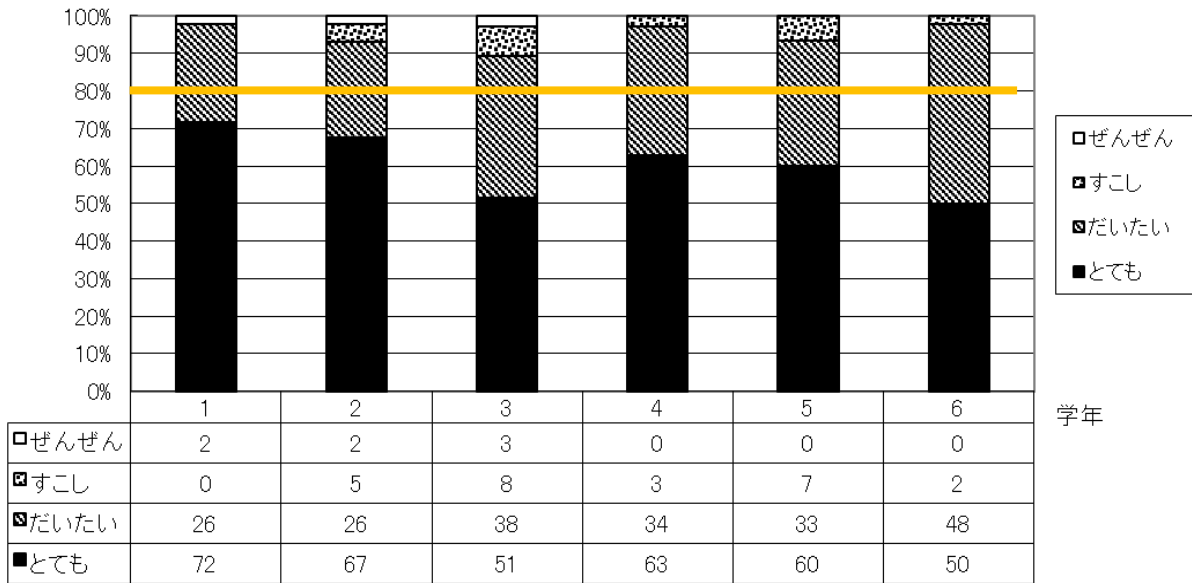
令和2年度後期

4 元気よくあいさつができますか



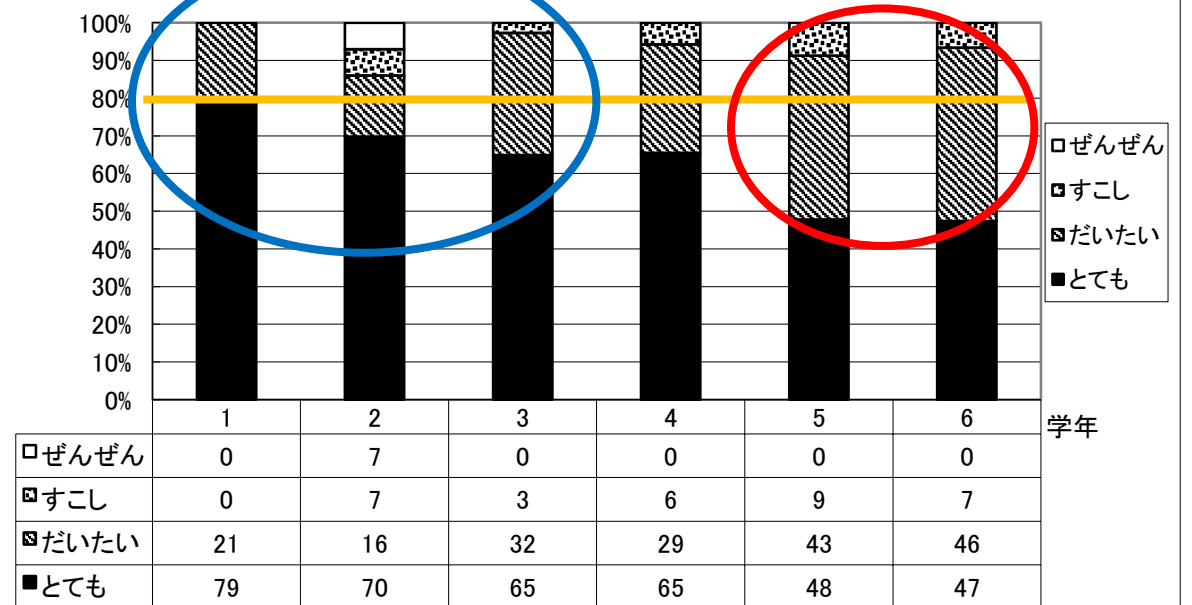
令和2年度前期

5 先生や友達の話をしっかり聞けますか



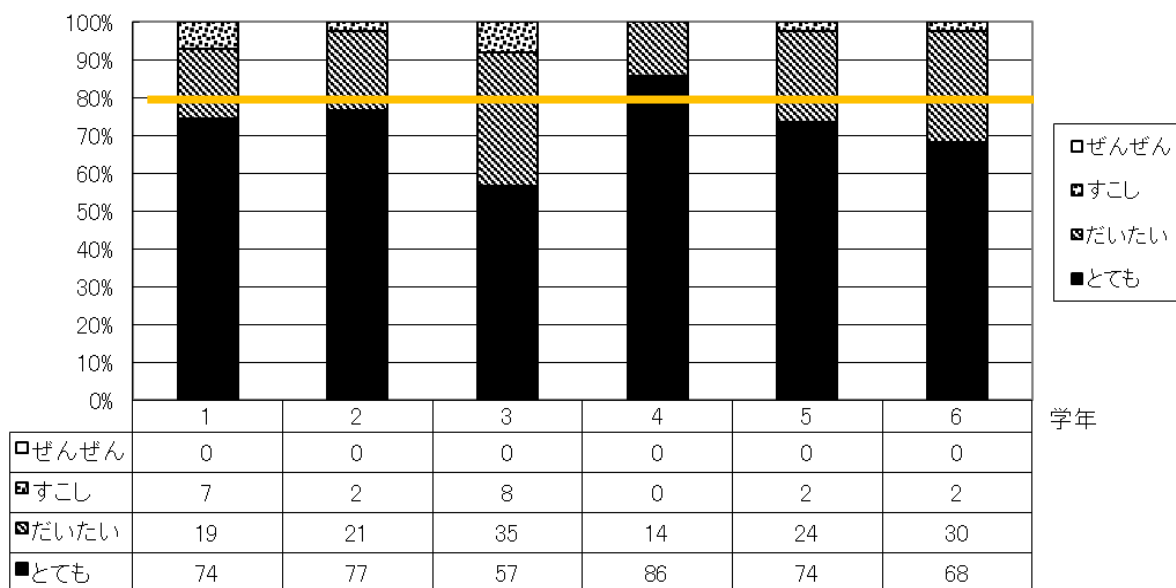
令和2年度後期

5 先生や友達の話をしっかり聞けますか



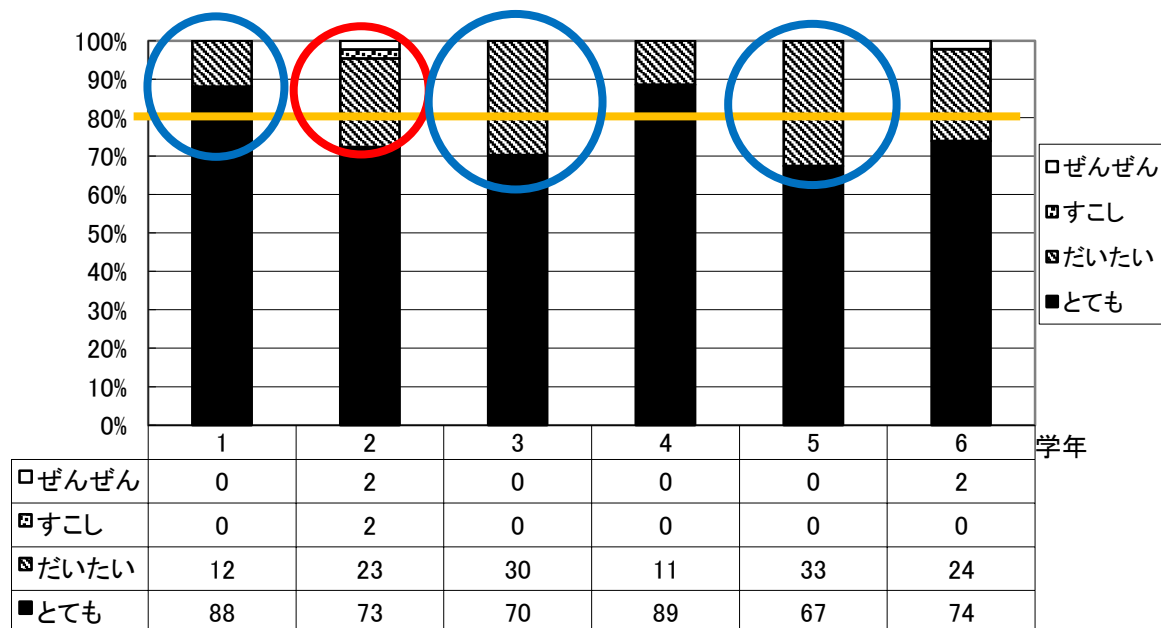
令和2年度前期

6 そうじ当番がしっかりできますか



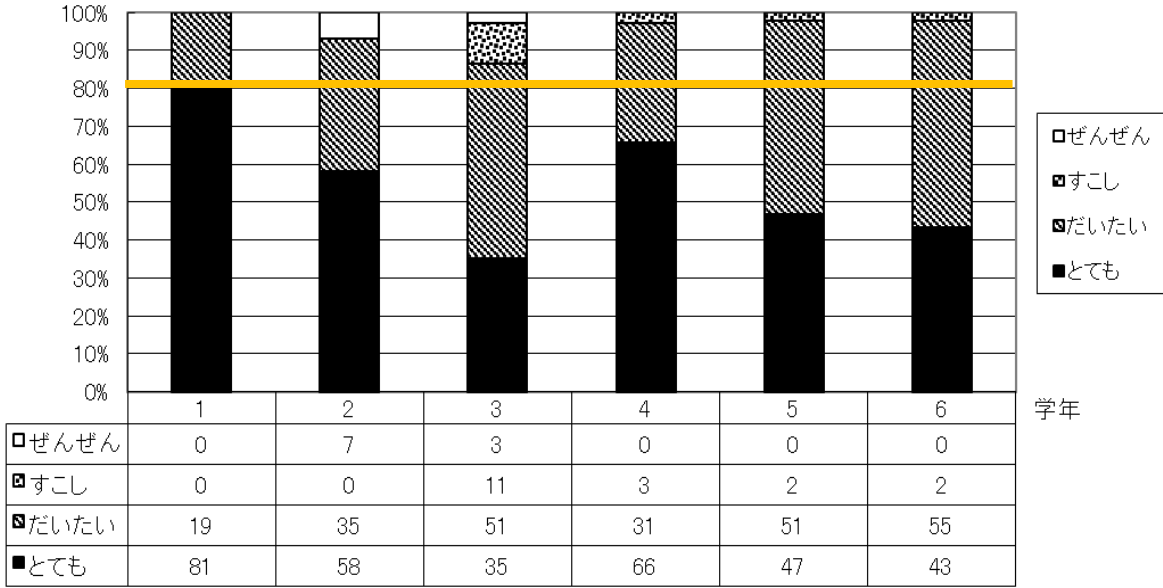
令和2年度後期

6 そうじ当番がしっかりできますか



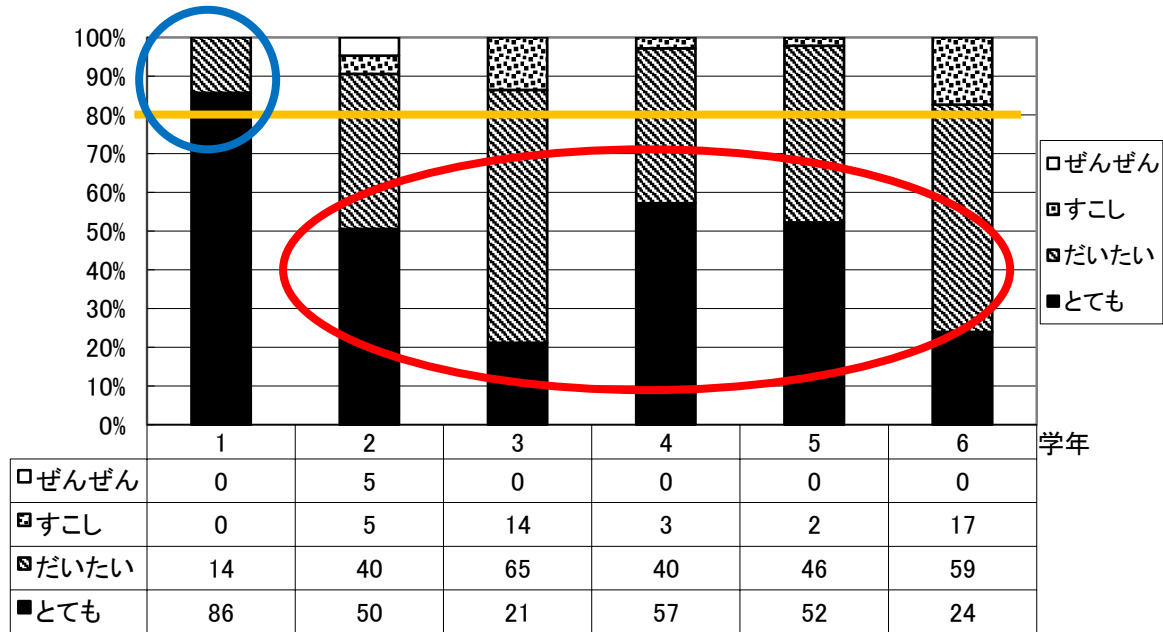
令和2年度前期

7 学校の約束や決まりを守っていますか



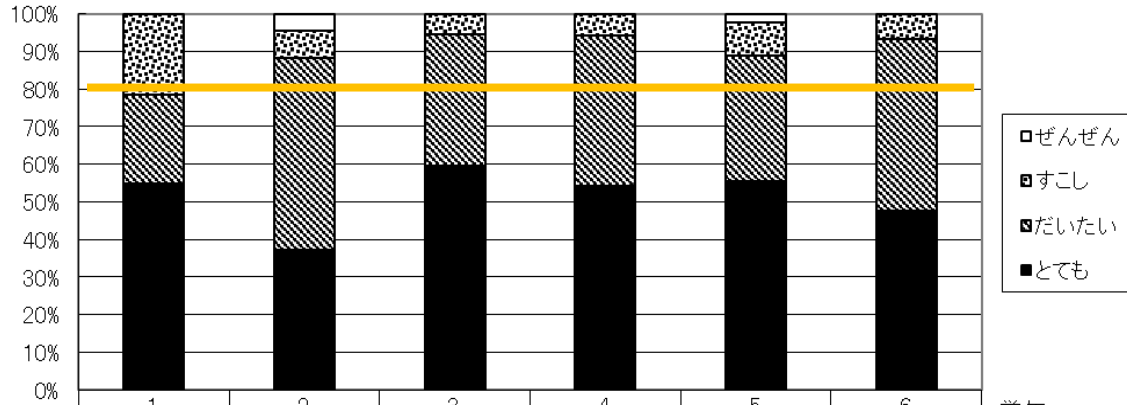
令和2年度後期

7 学校の約束や決まりを守っていますか



令和2年度前期

8 授業はよくわかりますか

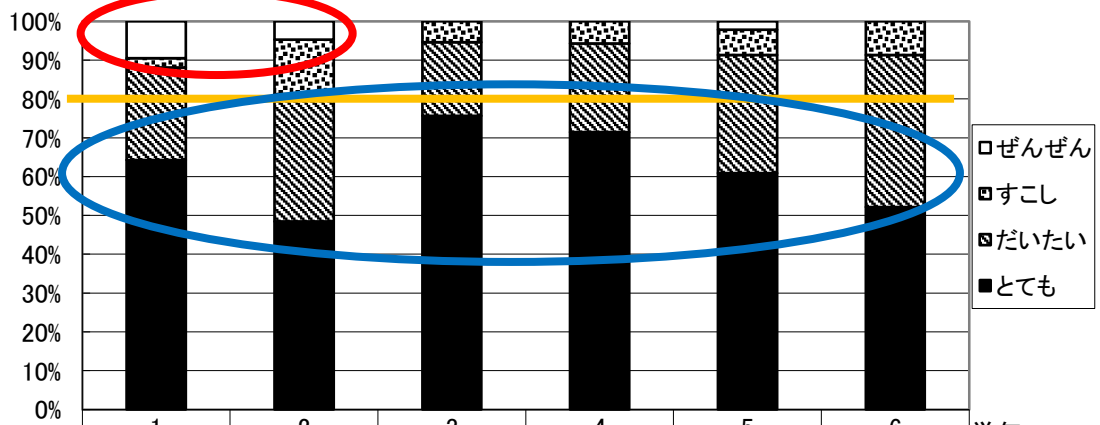


	1	2	3	4	5	6
□ぜんぜん	0	5	0	0	2	0
▨すこし	21	7	5	6	9	7
▩だいたい	24	51	35	40	33	45
■とても	55	37	60	54	56	48

学年

令和2年度後期

8 授業はよくわかりますか

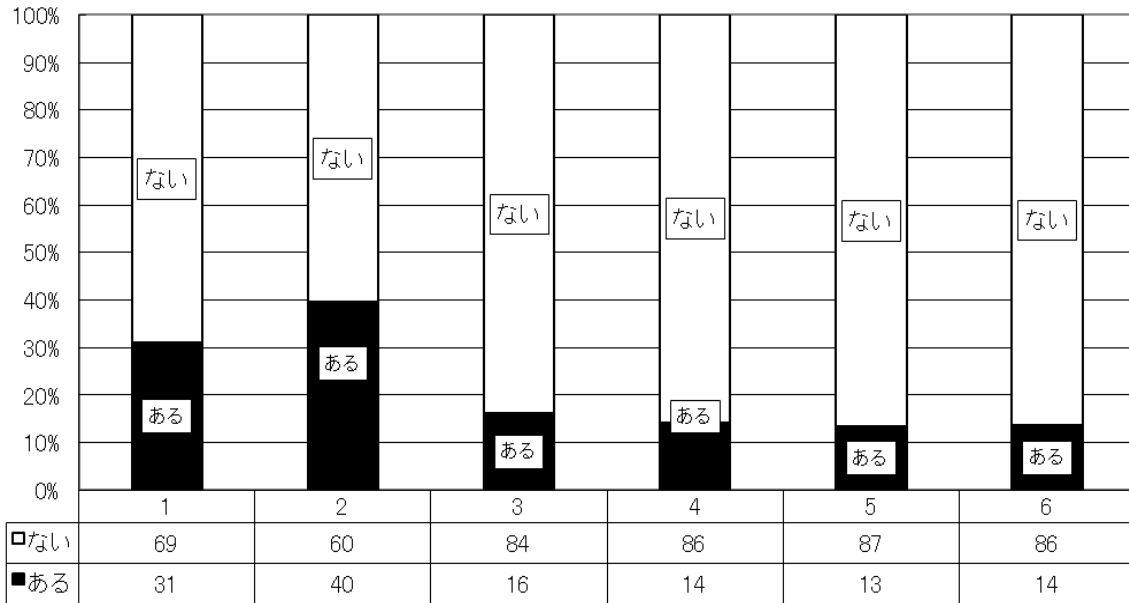


	1	2	3	4	5	6
□ぜんぜん	10	5	0	0	2	0
▨すこし	2	14	5	6	7	9
▩だいたい	24	33	19	23	30	39
■とても	64	48	76	71	61	52

学年

令和2年度前期

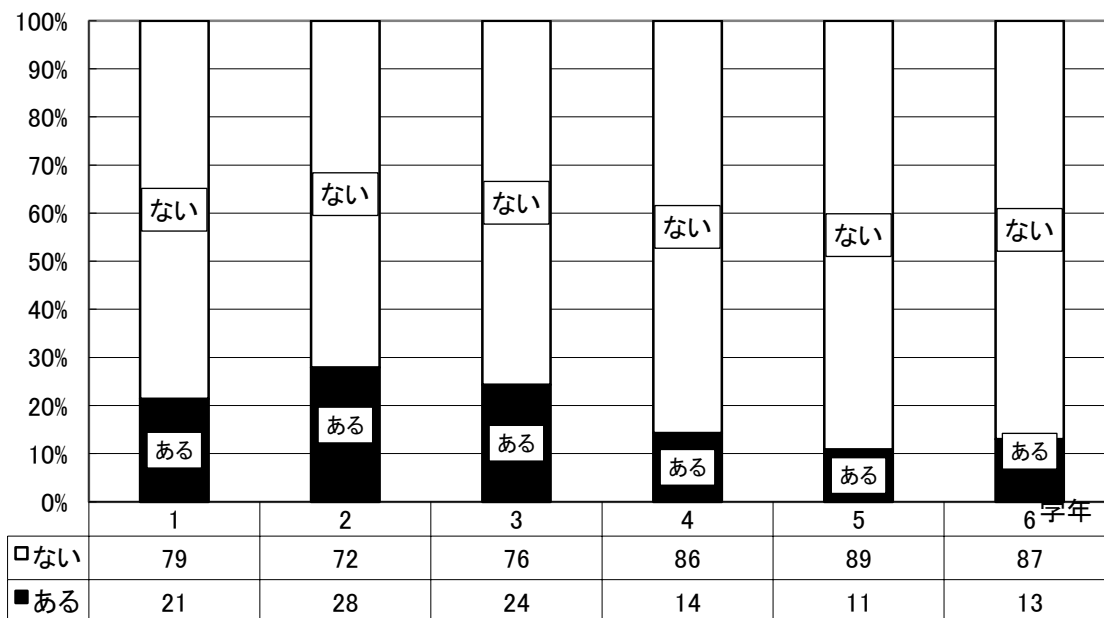
9 学校生活でこまっていることがありますか



学年

令和2年度後期

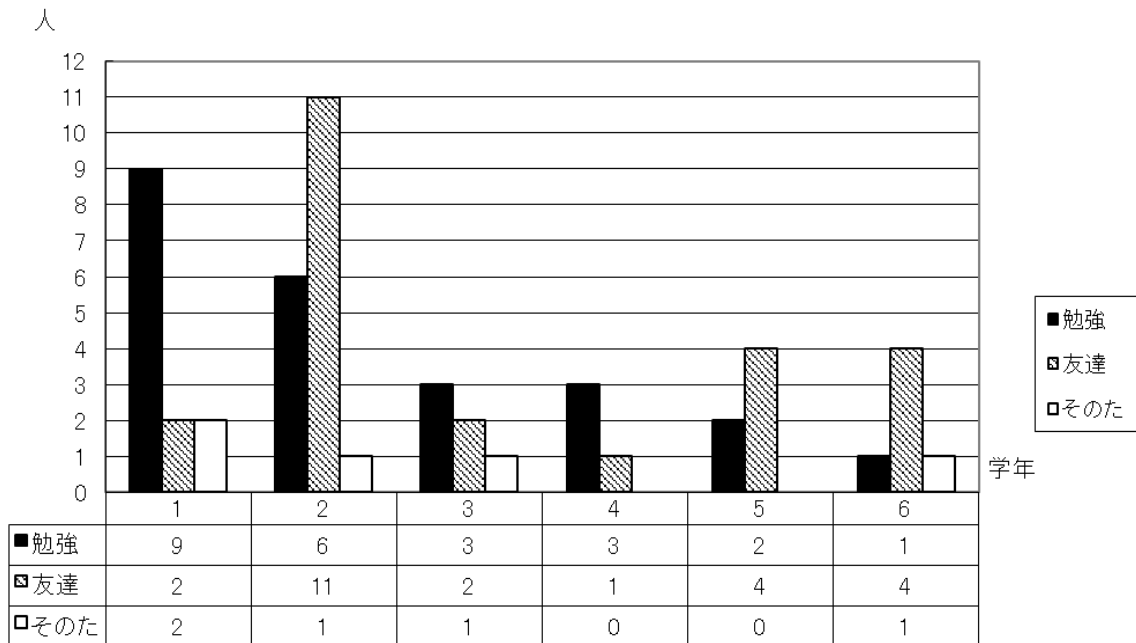
9 学校生活でこまっていることがありますか



学年

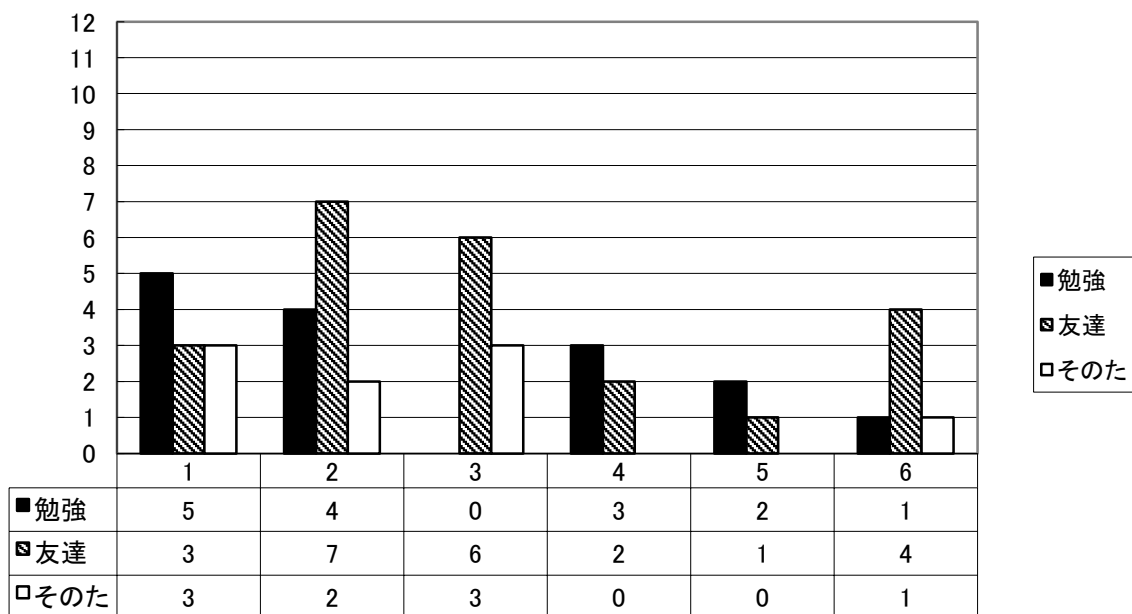
令和2年度前期

10 どんなことで困っていますか



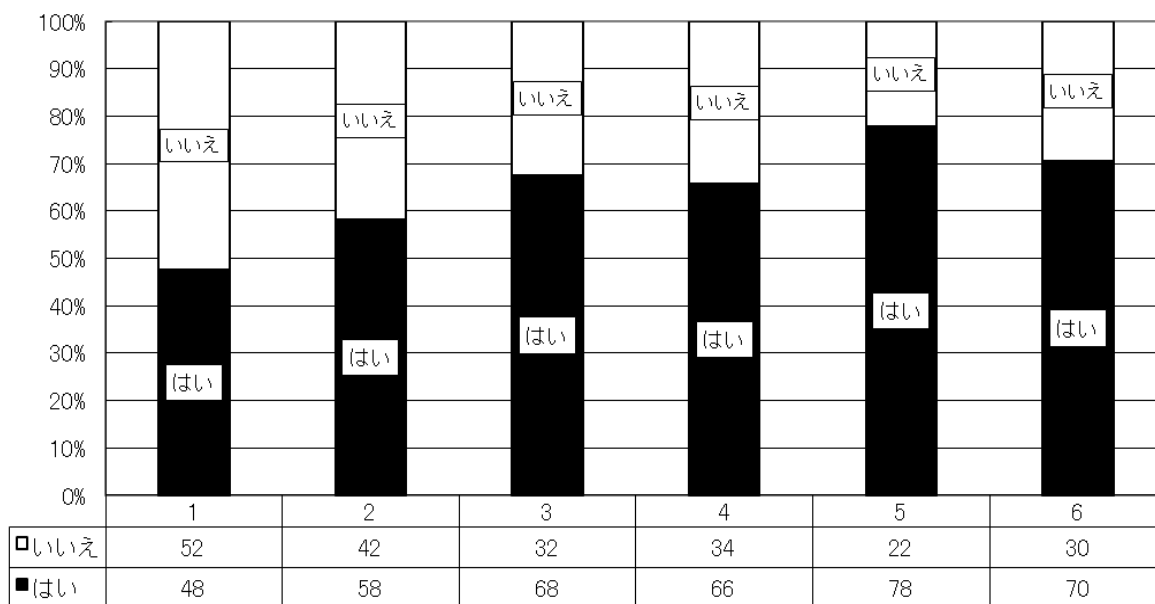
令和2年度後期

10 どんなことで困っていますか



令和2年度前期

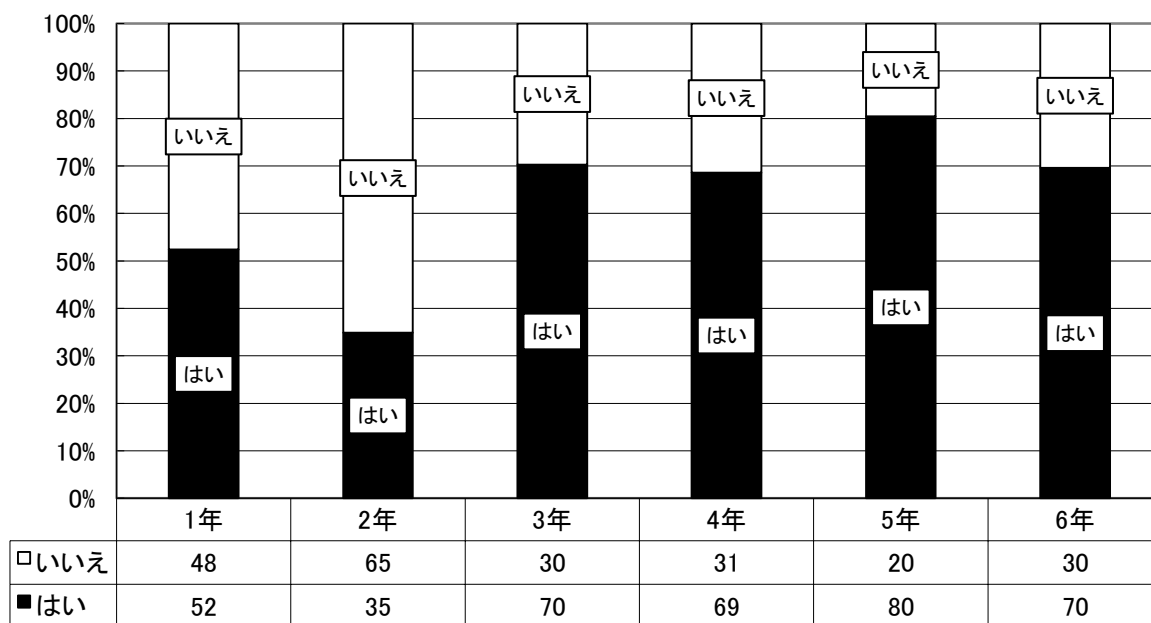
11 あなたは自分の携帯ゲーム機・携帯音楽プレーヤーを持っていますか



学年

令和2年度後期

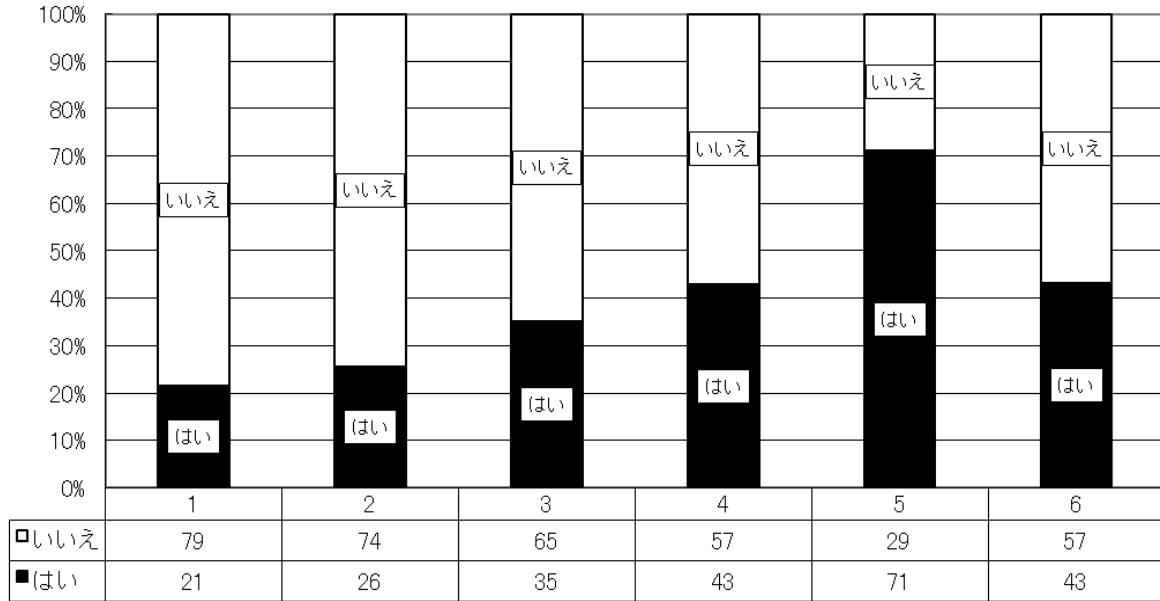
11 あなたは自分の携帯ゲーム機・携帯音楽プレーヤーを持っていますか



学年

令和2年度前期

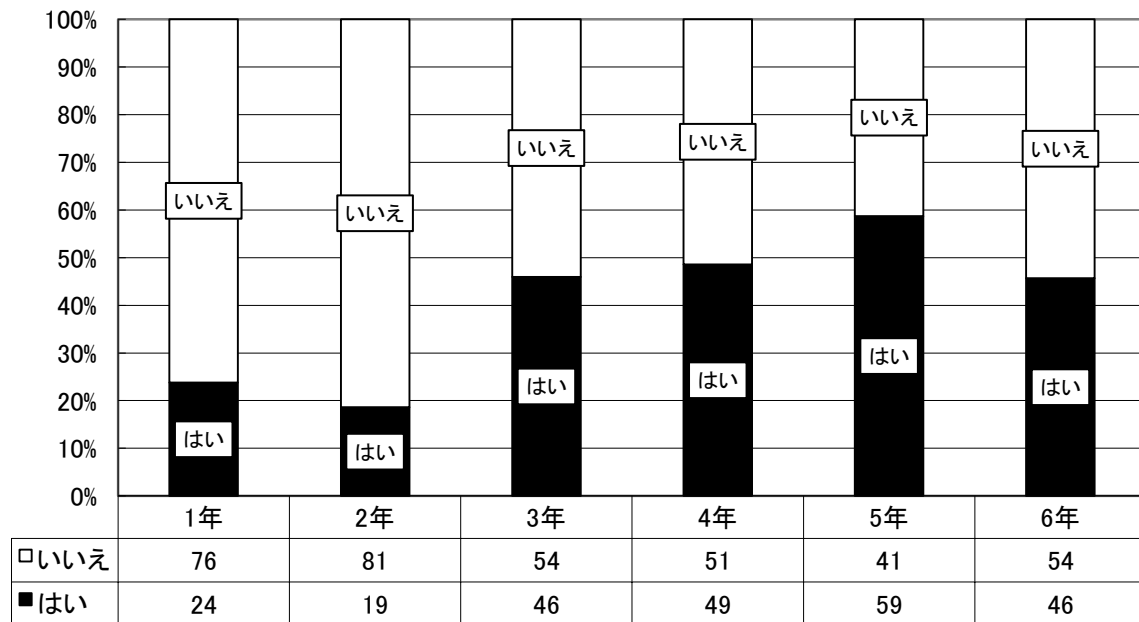
12 あなたは自分の携帯電話・スマートフォンを持っていますか



学年

令和2年度後期

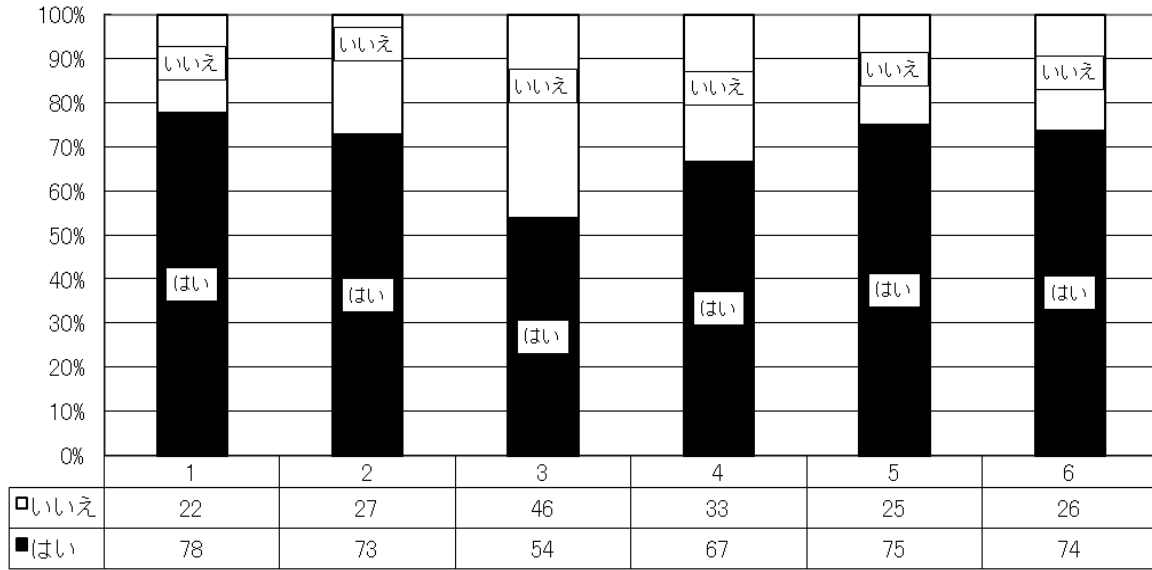
12 あなたは自分の携帯電話・スマートフォンを持っていますか



学年

令和2年度前期

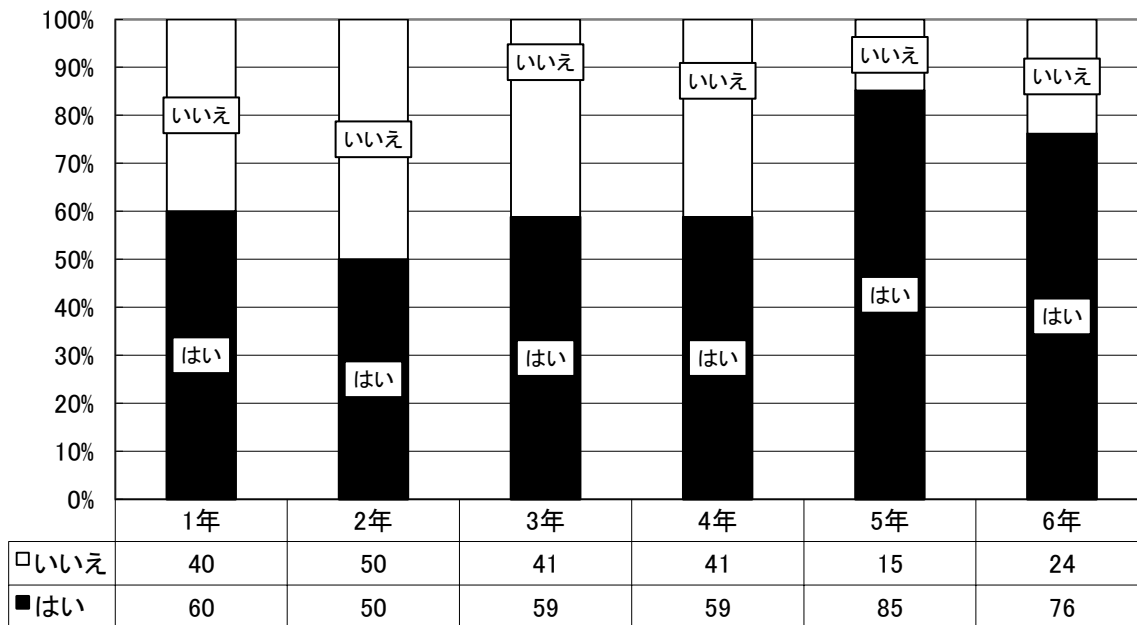
13 あなたのお家では、家庭内で携帯電話・スマートフォンを使う時のルールがありますか



学年

令和2年度後期

13 あなたのお家では、家庭内で携帯電話・スマートフォンを使う時のルールがありますか



学年

学校評価・児童用アンケート結果から(青字:成果 赤字:課題)
児童自身の自己評価力がちがいますし、学年の実態によっても、評価の
つけ方もちがうと思います。また、各学年ともに、全体における1人の占める
割合も数%(2~3%)となっていることも考慮してください。

【1~8の項目について】

「とても」「だいたい」を肯定的な意見としてとらえると、「2 授業中 友達の話をよく聞いて 自分の考えを伝えていますか(学習意欲・主体的な学び)」以外の項目は、どの学年も80%を超えています。特に、「3 学校で一緒に遊んだり、おしゃべりをしたりする友だちはいますか」については、肯定的な意見が90%を超えています。2学期には、運動会や修学旅行、林間学校などの行事や児童会の取り組みなどを通して、児童同士がふれ合う機会が増えたことが要因だと考えられます。授業においても、各学年で、1学期よりも話し合い活動や体験活動の機会が増えたと思います。そのことが、「8 授業はよくわかりますか」の項目において、「とても」と答えた児童の割合が1学期よりも増したことに繋がったと思います。ただ、それでも、2の項目に反映されていないことを考えると、学習意欲を高めるような指導方法の工夫が必要だと考えます。「やまなしスタンダード」の徹底やICTの活用、家庭学習の充実など、授業の改善を図りましょう。また、「8」の項目については、低学年において、1回目のアンケートと比べて「ぜんぜん」「少し」と答えている子の割合が高くなっています。“学力の格差”が生じている兆候かもしれません。今後も複数教員によるきめ細かな指導を続けていきたいです。

「5 先生や友達の話をしっかり聞けますか」の項目については、低・中学年と比べると、高学年の方が評価が下がっています。これは、高学年に求めている「話を聞く」レベルが態度的な面だけでなく、内容理解・比較まで含めて指導しているためだと考えられます。

今年度の目指す子ども像の中にある「無言清掃」「あいさつ」については、どの学年でも約90%の児童が「4 元気よくあいさつができています」「6 そうじ当番がしっかりできています」と答えています。ただ、子どもたちの実態を見ると、アンケート結果からは乖離している点もあります。教師が求めている「無駄口をしないでそうじする」や「自主的なあいさつをする」段階までには至っていません。アンケート項目の内容も含め、改善の余地があると思います。アンケート項目については、次のように変更してはどうでしょうか？

「4 相手の気持ちを考えたあいさつや返事ができますか。」

「6 余計なおしゃべりをしないで、集中してそうじができますか。」

規範意識については、「7 学校の約束やきまりを守っていますか。」の項目の「とても」の割合が、1回目のアンケートと比べて低くなっていることが気になります。新しい生活様式の定着も含め、来年度に向けて指導を徹底していきたいです。

【9・10の項目について】

1学期末の評価と比べると、特に低学年において、困りごとのある児童の割合が減ってきています。課題の見られる児童に対しても、担任教師をはじめとして、多くの先生方に関わっていただいた成果だと思えます。友だちと関わり合う機会が多くなってきたことで、困りごとの内容としては、勉強面よりも、友だち関係の内容が増えています。児童からの相談に対しては、共感的に聞いた上で、適切な指導・助言を心がけていきましょう。高学年では、学習面で悩みを抱えている児童の割合が前回と同じでした。同一児童の可能性もあります。児童を特定することにより、効果的な指導も可能になると考えています。

【11～13の項目について】

携帯ゲーム機や携帯音楽プレーヤー、携帯電話・スマホの所有率は、前回とさほど変わっていません。これは、購入時期が関わっているのかもしれませんが。(学年始めやクリスマスシーズンなどに購入する家庭が多いのかもしれません……)

携帯電話・スマホを使うときの家庭内のルールづくりについては、まだまだ十分とは言えません。学年だよりや学年部会、教育相談会&個別懇談などの機会を通して、ルールづくりの必要性を伝えていきましょう。また、情報教育の一環として、「SNSノート 情報モラル編」という教材もあります。データをダウンロードし、「08生徒指導・不登校」⇒「ケイタイスマホ」の中に入れておきました(「SNSノート」(児童用&手引き)で保存)。活用してみてください。携帯電話・スマホ所有率が40%を超えている本校ですので、高学年に限らず、携帯電話・スマホの正しい使い方について学ぶ機会が必要だと思われます。来年度からICTの本格的な活用もはじまりますので、情報機器の正しい使い方や情報の正しい扱い方なども学べるとよいです。